社会貢献活動（地域ボランティア活動）の実施報告

（一社）四国林業土木協会

活動内容	「社会貢献の森」で森林整備を実施

１　実施年月日　：　令和３年６月１１日
２　実施場所　　：　高知県室戸市羽根　安芸森林管理署管内　千ヶ谷国有林
３　参加会員数　：　１７企業　　２２名
　　安芸森林管理署　６名　　計２８名
４　活動内容

安芸森林管理署は、高知県東部の約２９千ｈａの国有林を管理経営しています。管内の室戸岬の北に位置する千ケ谷国有林には、平成１５年に当協会と安芸森林管理署長の間で、面積１．５２ｈａの「社会貢献の森」を設定し、継続的にボランティア活動を行っています。

この一帯は、平成２３年に国内５件目として設定された室戸ジオパークに含まれ、国道５５号線に面しているため、近年、入込者が増加しています。また、付近は潮害防備保安林に指定されていますが、雑草木やつる類の繁茂が極めて旺盛で、周辺の景観を損なっているため、当協会では今年も会員による森林整備を行うこととしました。

当日は、安芸森林管理署の職員にも参加していただき、高木鉄哉署長にご挨拶をいただいた後、手分けして雑草木の刈払いやつる切り、老朽化した木製防護柵の補修、不法投棄されたゴミの回収を行いました。

作業後は、見違えるような景観となり、保安林としての機能の高度発揮も促進されるものと思われます。当協会では、このようなボランティア活動を、今後も継続していくこととしています。

活動写真

作業前の高木署長のご挨拶

作業に参加した皆さん

雑草木の刈り払い・つる切り、　ゴミの回収作業

社会貢献活動（地域ボランティア活動）の実施報告

（一社）四国林業土木協会

活動内容	祖谷川地区の林道と穴吹川地区の運搬路の整備

１　実施年月日　：　令和３年７月１２日
２　実施場所　　：　徳島県美馬市木屋平 徳島森林管理署管内
　　祖谷川地区 三嶺林道
　　及び穴吹川地区 富士の池作業路
３　参加会員数　：　１３企業　　２５名
　　徳島森林管理署　署員２名　　計２７名
４　活動内容

徳島森林管理署は、四国の屋根と呼ばれる剣山(標高1,955m）周辺の約１８千ｈａの国有林などを管理経営していますが、管内には中央構造線沿いの破砕帯が多く、国有林内はもとより、民有林でも国直轄による治山事業や地すべり防止事業が計画的に実施されています。

（１）祖谷川地区　三嶺林道

徳島県と高知県の県境にある三嶺（標高1,893m）は、四国屈指の秀峰で、日本二百名山の一つでもあり、山頂付近のシコクザサ、コメツツジが織りなす美しい風景が多くの登山者を魅了しています。

また、三嶺は、剣山国定公園や三嶺自然休養林に含まれ、秘境祖谷の観光ブームとも相まって、季節を問わず多くの登山者が見られるようになっています。　この林道は、治山工事や森林管理に利用されるほか、徳島県側からの三嶺への登山道の一部となっており、多くの登山者に利用されている林道です。

この林道の車両の通行や歩行の安全を確保するため、当協会では以前から継続して環境整備のボランティア活動を行っています。

（２）穴吹川　富士の池治山運搬路

この道路は、剣山国定公園内の四国第２の高峰、剣山(1,955m）の東に位置し、元々は治山事業の実行のために開設されたものですが、一部は「一の森」を経て剣山に至る古式ゆかしい霊峰、剣山への登山道として活用されていることや、途中に山岳信仰で栄えた「龍光寺富士の池本坊」があることから、多くの登山者や参拝者が利用しています。

この道路を利用する車両の通行や歩行の安全を確保するため、当協会では以前から継続して環境整備のボランティア活動を行っています。

作業を行った当日は、天候にも恵まれ、会員の保有するトラックや機械・道具を持ち込んで作業を行いました。

参加者は安全確保に注意しながら、落石の除去や横断溝の掘り上げ、カーブミラーの補修、道路沿線の雑草木の刈り払いなど、事業実行上の利便を図るだけでなく訪れる方々が安全で快適であるように、手分けして作業を行いました。　当協会は、今後もこのような地元に役立つボランティア活動を継続したいと考えています。

活動写真　【祖谷川地区　三嶺林道】

作業に参加した皆さん

横断溝の掘り上げ

カーブミラーの補修

通行に支障となる枝条の除去

活動写真　【穴吹川　富士の池治山運搬路】

作業に参加した皆さん

落石や雑草の除去

法面の刈り払い

作業後の状況

社会貢献活動（地域ボランティア活動）の実施報告

（一社）四国林業土木協会

活動内容	「森ケ内山ふれあい事業」として松葉川林道を補修

１　実施年月日　：　令和３年７月１５日
２　実施場所　　：　高知県高岡郡四万十町　四万十森林管理署管内
　　松葉川林道及び９号支線
３　参加会員数　：　１６企業　　１９名
　　四万十森林管理署　５名　　計２４名
４　活動内容

四万十森林管理署は、高知県西部の１１市町村にまたがる約５２千haの国有林を管理経営しています。このうち、四万十町にある松葉川林道は、「最後の清流」といわれる四万十川の支流、松葉川渓谷に沿って伸びており、春の新緑から秋の紅葉まで四季折々の森林美を楽しめることや、秘湯の松葉川温泉が近くにあることから、観光客や湯治客、釣り人など多くの入林者に利用されています。

この林道の交通安全と環境保全を図るため、当協会では「森ケ内山ふれあい事業」の一環として、毎年、松葉川林道及び９号支線の補修をボランティアで行っています。

当日は、四万十森林管理署の職員にも参加していただき、前田利雄署長にご挨拶をいただいた後、林道脇に繁茂している雑草木の刈払い、崩土や落石の取除き、横断溝の清掃などを手分けして行いました。

当地を訪れる方々が、安全で気持ちよく走行できるように、こうした活動をこれからも実施していきたいと考えています。

活動写真

作業前の前田署長のご挨拶

作業に参加された皆さん

林道沿いの雑草木の刈り払い

横断溝の掘り上げ

活動写真

署長も参加して行った防護柵の補修作業

補修後の防護柵

回収された不法投棄のゴミ